

日時 2020年3月12日(木) 13:00-16:30

会場 東京大学本郷キャンパス 小柴ホール

主催 東京大学公共政策大学院／国際石油開発帝石株式会社 (INPEX)

共催 (一財)日本エネルギー経済研究所 (IEEJ)

開催趣旨

2020年からパリ協定が実施段階に入る。欧州ではフォンデアライエン新体制の下で欧州グリーンディールが最優先課題とされ、米国ではパリ協定を否定するトランプ政権と急進的な温暖化対策を主張する民主党が両極分化している。COP の場においては石炭のみならず化石燃料全体をフェーズアウトすべきとの議論が擡頭し、これに呼応して金融面では欧州のサステナブルファイナンス、OECD における化石燃料セクターへの ODA 差し止め論等が起きている。更に通商貿易面では欧州委員会が炭素関税の導入を表明し、今後の展開が注目される。パリ協定下におけるビジネス環境は低炭素化・脱炭素化という大きな方向性は共有しつつも、そのスピード、強度に関しては様々な不確実性が存在する。本シンポジウムではこれまでの研究会の議論を踏まえつつ、米国、欧州、インドおよび日本の産業団体からパリ協定下のビジネス環境にどのように対応しつつあるかにつき、海外専門家、研究会メンバーをまじえた報告・パネルディスカッションを行う。

13:00-13:10

開会挨拶

高原 明生 東京大学公共政策大学院長
橋高 公久 INPEX 取締役常務執行役員

13:10-13:15

イントロダクション 有馬 純 東京大学公共政策大学院 教授

13:15-13:35

基調講演①

Mr. Stephen Eule
Vice President, Global Energy Institute, US Chamber of Commerce

13:35-13:55

基調講演②

Leon Van de Graaf Advisor, Industrial Affairs, Business Europe

13:55-14:15

基調講演③

Soma Banerjee Executive Director, Energy & Infrastructure,
Confederation of Indian Industries

14:15-14:35

基調講演④ 手塚宏之 経団連地球温暖化小委員会国際 WG 座長

14:35-14:55

コーヒープレイク

14:55-16:20

パネルディスカッション

モデレーター 有馬 純 東京大学公共政策大学院 教授

パネリスト Stephen Eule (米国商工会議所)
Leon Van de Graaf (ビジネスヨーロッパ)
Soma Banerjee (インド産業連盟)
手塚宏之 (経団連)
長村 政明 (東京海上ホールディングス(株) 事業戦略部 参与)

16:20-16:25

ラップアップ・閉会挨拶 有馬 純 東京大学公共政策大学院 教授

16:30

終了後、レセプション



Mr. Stephen Eule



Mr. Leon De Graaf



Ms. Soma Banerjee



手塚宏之



有馬 純

炭素制約下における
ビジネス環境

INPEX 寄付講座「エネルギーセキュリティと環境」国際シンポジウム2019年度

お申し込み先

www.pp.u-tokyo.ac.jp/INPEX/



お問い合わせ先: gese@pp.u-tokyo.ac.jp